

会社・事業所名(ふりがな) カブ セキ ハラコウジョウ <b>(株)オーツカ 関が原工場</b>	発表者名(ふりがな) ササジマ ヨウコ <b>笹嶋 陽子</b>
--	--



株式会社オーツカは岐阜県に4つの工場と滋賀県に1つの工場があり、私たちが勤務しているのは「関ヶ原工場」になります。今回の改善職場は事務所、守衛室になります。



私たちは総務部に所属する男性5名、女性5名で構成されています。サークル名の由来ですが、他の部門が行わない仕事全般をこなす言わば、よろづや的な存在のため命名されました。活動前のサークルレベルはX軸 2.7、Y軸 2.9のCゾーンでBゾーンを目指しメンバーのレベルアップと更なるチームワーク強化を目指します



メンバーで話し合い、効果、緊急性、重要性、上位方針について採点し、マトリックス図で評価しました。その結果4項目が同点1位になりました。この中から話し合い「マニフェストの電子化」に取り組む事に決めました。

**【テーマ選定】**

**○メリット**

- マニフェストの処理状況をパソコン上で確認できる
- 担当者不在時の対応ができる
- ミスが少なくなる

勉強会を開いてマニフェストを知らう!

まずは、マニフェストの電子化についてのメリットをメンバーが調べました。マニフェストの処理状況をパソコン上で確認できるようになる。担当者不在時の対応ができるなどがありました。次に現状把握として、マニフェストや電子化について勉強会をすることにしました。担当者がパソコンを使い、デモサイトで流れを学びました。

**【再度、皆で評価の見直し】**

勉強会をした結果

- 電子化する準備段階では困り事がない
- QCテーマではなく担当者のみで対応が可能である
- 4月までに担当者が準備して、実際に運営した時に困り事が出たらその時に改善していこう

今回は『マニフェストの電子化』は見送る事に

しかし、勉強会をした結果、電子化する準備段階では困り事がない。電子化自体は担当者のみで対応できるため、QCのテーマとして成立しないのではないかと等しい意見がでました。そこで、4月までに担当者が準備して、実際に運営をしてみようとした時に改善していこうと決まりました。そのため今回のテーマから見送る事となりました。

再度メンバーで話し合い、効果、緊急性、重要性、上位方針について採点し、マトリックス図で評価しました。その結果、「事務所で来客対応がスムーズにできない」が1位となりました。

**【テーマ選定理由】**

問題が多すぎるなあ...

テーマ選定理由  
来客対応での困りごとを各自で書き出してみると対応の手順が分からない、自信をもって案内できないなど多くの問題が出てきました。

**【テーマ選定理由】**

- 困りごとが多くなることはない
- すべての困りごとには対応できない
- 知識や経験を問わずに対応できるようにしよう

スムーズに来客対応が出来るように考えよう!

その中で、経験が浅いメンバーと、長年の経験があるメンバーで対応の差がでてしまう。毎回同じ対応でいいとは限らないケースもある。他部署が絡んでいて解決できない問題がある。など、全ての困り事がなくなることはないかもしれませんが少しでもスムーズに来客対応ができる様に考えていこうと、このテーマに決めました。

**【活動計画】**

担当	11月	12月	1月	2月	3月	4月
テーマ選定	松井					
活動計画	日井					
現状把握	菅嶋					
目標設定	藤谷					
要因解析	吉田					
対策立案・実施	藤田					
効果確認	藤谷					
標準化・管理の定着	菅嶋					
反省・今後の計画	吉田					

対策実施に時間がかかったが期間内に終了

活動計画はこのとおりです。対策実施に時間がかかってしまいましたが、なんとか期間内に終わらせることができました。

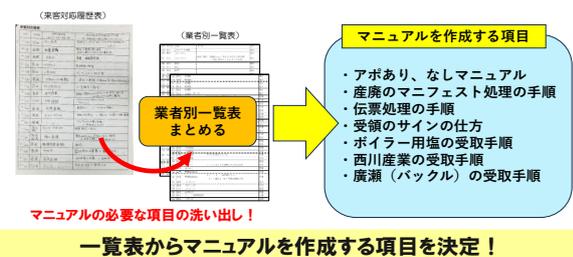
QCサークル紹介	サークル名	よろづや	(フリガナ)	ヨロヅヤ	PC出力形式	RGB・HDMI
	本部登録番号	42-35	サークル結成時期	2010年 5月		
メンバー構成	10名	会合は就業時間	内	外・両方		
平均年齢	48.5歳 (最高 68歳、最低 23歳)	月あたり会合回数		2回		
テーマ暦	本テーマで 26件 社外発表 1回目	1回あたり会合時間		1.0時間		
本テーマの活動期間	2023年 11月 ~ 2024年 4月	本テーマの会合回数		14回		
発表者の所属	総務部					勤続 2年





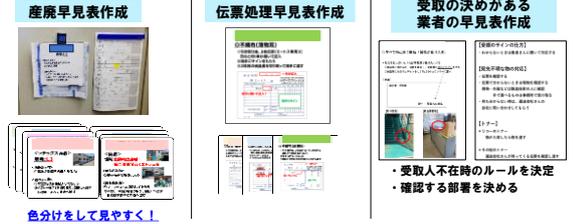
**初めに対応する人を固定することで対応が早くなった**

対策実施 事務所① 初めに対応する人を固定化する以前は、事務所での来客時に誰が出るか決めておらずお客様をお待たせするなどの問題がありました。そこで、まず初めに対応する人を固定する事にしました。担当は入社2年目のメンバーに決められました。理由としては、来客者に対しての意識を高めたり、いろいろな対応の経験を積んでいくためです。



対策実施 事務所③-① マニュアル作成

マニュアルを作るにあたって、今の状況を把握するために、どのようなお客様が来られているのか、そしてどのような問題があるのかを調べることになりました。来客対応履歴の表を作成し、事務所に来られた人すべての対応内容を記入するようにしました。それを一覧表にまとめました。一覧表からマニュアルを作成する項目を洗い出して実行していきます。

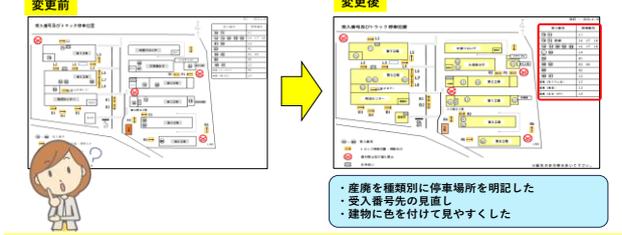


産廃業者、伝票処理、不在時のルール対応について、3種類の早見表を作成し対応に困らないようにしました。

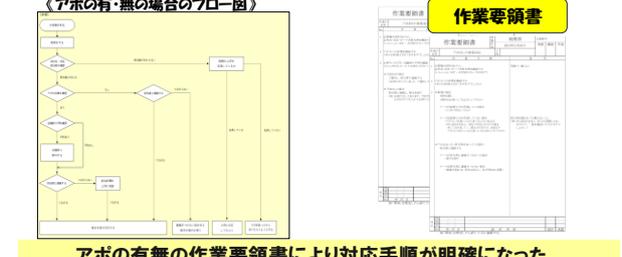


対策実施 事務所⑤席替えをする

初めにお客様を対応する担当者が決まりましたので、上司に相談し席替えを実施、対応しやすくなりました。



対策実施 事務所② 構内図を作成する来客時に使用する構内図の色身を変更、内容を更新し、案内しやすく作成しました。



お客様が来社されてから、担当者につながるまでの仕組みをフロー図にしました。フロー図を参考にアポありの来客対応とアポなしの来客対応の作業要領書を作成しました。

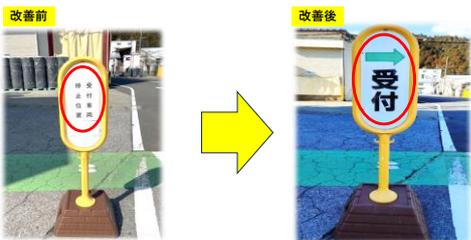


対策実施 事務所④ シミュレーションをやってみるメンバーが来客者と対応者に分かれてシミュレーションを行いました。以前よりスムーズに自信をもって対応できましたが、まだまだ練習が必要だなと感じました。



対策実施 守衛室①-①受付窓口の表示を大きくする

以前は受付の表示が小さく、近くまで来ないと見えない状態でした。メンバーで、字の大きさや貼り付け位置を話し合い、看板を作成し、掲示しました。表示を大きくしたことで、お客様に見える化できました。



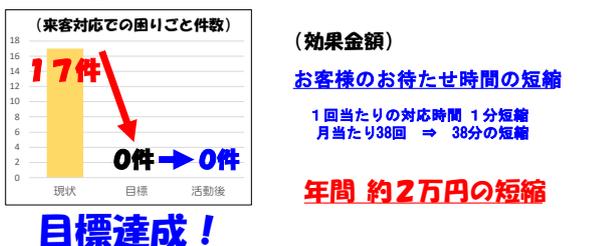
**表示を変更し受付場所が分かりやすくなった**

対策実施 守衛室①-② 表示方法の見直し  
変更前、事務所前の停止位置にある看板には、受付車両停止位置との表記でした。どこが受付かわかりづらく、直接事務所に行かれるお客様が多いという問題点がありました。まず守衛室で受付していただく為に受付と矢印表記に変更しました。



**守衛業務を体験し、守衛業務の大変さを実感！**

対策実施 守衛室③ 守衛業務を体験する  
守衛対応要領や案内図を使い、実際に事務所のメンバーが体験しました。体験後の感想として、なかなか触れる機会がなかった業務の体験は新鮮だった。案内図の写真で場所の説明がしやすかった。お客様の対応での大変さも実感した。などがあがりました。



**全員の力の結集ですごい！**

効果の確認  
来客での困り事件数17件が0件になり、目標達成です。お待たせ時間の短縮時間で金額換算すると約年間2万円の効果を出すことが出来ました。

項目	何を	いつ	どこで	誰が	なぜ	どうする
標準化	来客時の対応方法	活動後に	事務所、守衛室で	メンバーが	簡便化してしまわないように	標準書、マニュアルに落とし込む
教育訓練	マニュアルを使って	月1回	QC会合時に	リーダーが	決めたことと実践をすり合わせるため	実践を聞き取りする
管理の定着	マニュアルを	毎月1回	事務所、守衛室で	リーダーが	最新の情報を把握するための	実践のないいチェックしければ報告
	標準書、マニュアルが書かれているものを	月1回	事務所、守衛室で	アドバイザーが	決めたこととすり合わせるため	現場でチェックする、守られていない場合は報告

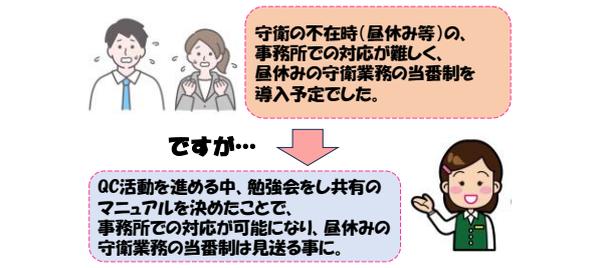
**風化してしまわないように定着化を図ります！**

標準化と管理の定着は5W1Hでこの表のように決めました。



**来客マニュアル・案内図を更新し、案内がスムーズになりました！**

対策実施 守衛室② 守衛の来客マニュアルと案内図の作成  
来客マニュアル、案内図とも古く、使いづらいため内容を見直しました。受入番号別や構内ルールを取り入れ、トラック停車位置などを追加したものにすべく取り出せる位置に置き誰にでも対応できるようにしました。



対策実施 守衛室④ 昼休みの守衛業務を当番制にする  
当初、守衛不在時の事務所での対応が難しく、昼休みに守衛業務の当番制を導入予定でしたが、今回のQC活動を進める中、勉強会やマニュアルを決めたことで事務所での対応が可能になり、昼休みの守衛業務の当番制は見送る事にしました。



**業務品質向上！ チームワークが強化されました！**

波及効果  
お客様をお待たせする時間が少なくなっただけでなく、お客様への対応に対する意識や事務所と守衛室間で情報が共有できるようになった。

**良かった点**

- 事務所と守衛室で共有できるマニュアルが完成して良かった。
- 知らなかった事がわかるようになって、案内がしやすくなった。
- 自覚できていない箇所の可視化が難しかった。

**苦勞した点**

- マニュアルやそれぞれの資料の作成に時間がかかり大変だった。
- 自覚できていない箇所の可視化が難しかった。

レベルアップ  
メンバーのQC手法・チーム力が向上

**次のQC活動に活かしていきたい！**

反省と活動の振り返り  
マニュアル作成など苦勞しましたが自分たちの力で目標達成でき良かったと思えました。サークルレベルについては目標のBゾーン突入することが出来ました。更にレベルアップを目指して活動を進めていきます。